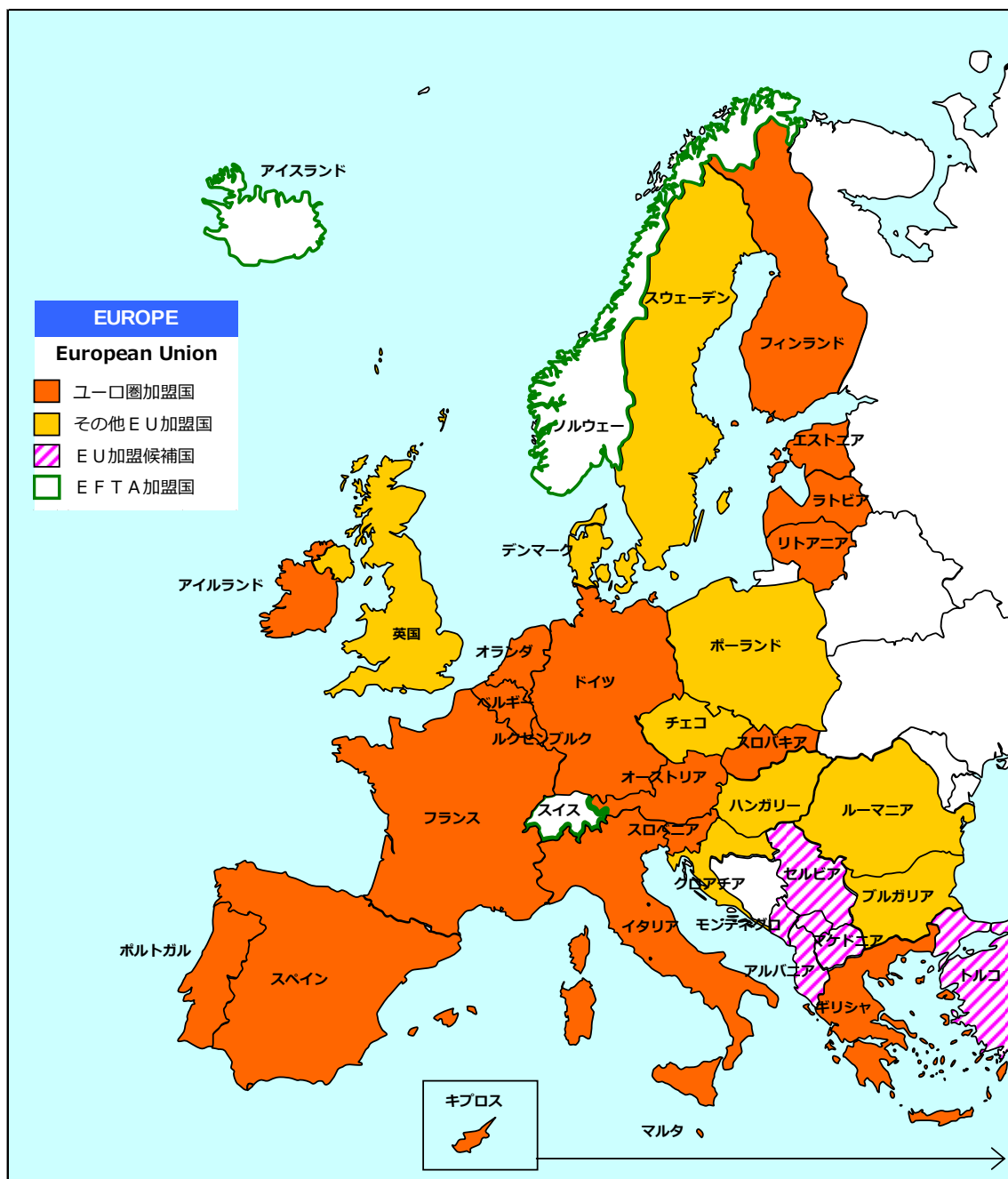


2017年9月21日 全13頁

欧州経済アップデート（2017.9）

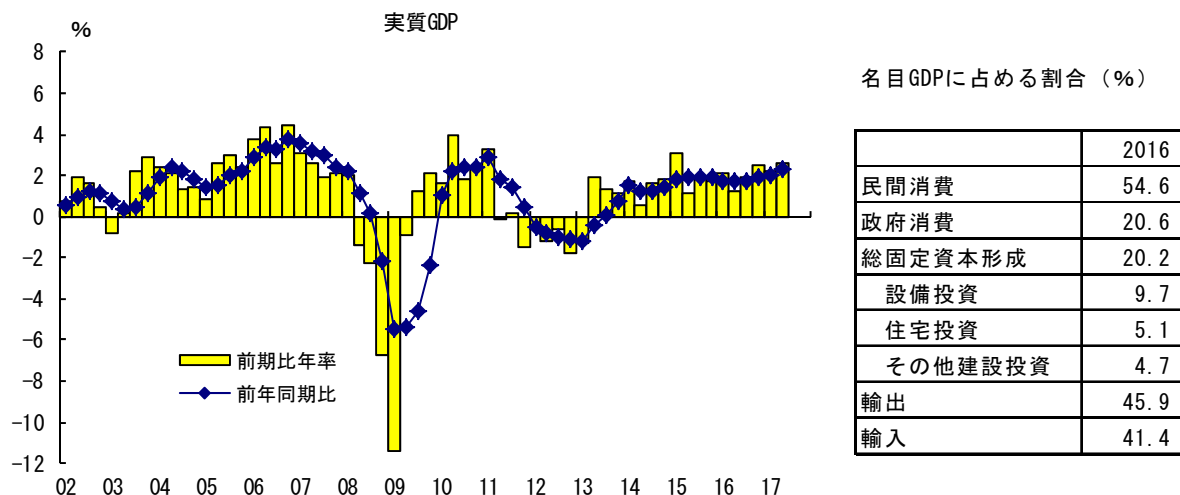
経済調査部
主席研究員 山崎 加津子

出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- 17 年 Q2 の実質 GDP 成長率は前期比+0.6%、前年比+2.3%
- 内需寄与度が前期比+0.5%pt と Q1 の同+0.1%pt から拡大した。個人消費と政府消費の伸び率はそれぞれ前期比+0.5%へ加速し、総固定資本形成は同+0.9%と反発した
- 一方、外需寄与度は前期比+0.1%pt と Q1 の同+0.4%pt から縮小した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2
実質GDP	0.4	0.1	0.4	0.4	0.8	0.3	0.4	0.4	0.5	0.3	0.5	0.6	0.5	0.6
個人消費	0.1	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.7	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5
政府消費	0.0	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2	0.5	0.4	0.8	0.2	0.2	0.4	0.2	0.5
総固定資本形成	0.7	-0.6	0.7	0.8	1.2	0.0	1.0	1.5	0.3	2.7	0.1	1.3	-0.3	0.9
設備投資	0.8	0.3	1.5	1.4	1.5	0.7	1.8	1.3	-0.1	5.5	-0.2	1.0	-1.9	1.0
住宅投資	1.6	-1.7	0.1	0.3	0.1	0.2	0.5	1.6	1.2	0.5	0.8	1.9	1.3	1.3
その他建設投資	-0.5	-1.3	-0.1	0.0	1.5	-1.6	-0.1	1.8	0.0	-1.2	0.1	1.3	1.9	0.3
輸出	0.9	1.0	1.8	1.4	2.6	1.2	0.6	0.9	0.4	1.3	0.4	1.5	1.3	1.1
輸入	1.2	1.3	1.6	1.1	2.9	0.9	1.2	1.6	0.4	1.8	0.5	2.0	0.4	0.9

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2
実質GDP	0.43	0.15	0.41	0.45	0.76	0.28	0.45	0.43	0.52	0.31	0.47	0.63	0.55	0.63
個人消費	0.04	0.16	0.22	0.26	0.22	0.23	0.24	0.25	0.38	0.19	0.19	0.32	0.20	0.29
政府消費	0.01	0.05	0.07	0.04	0.08	0.05	0.10	0.08	0.17	0.04	0.04	0.08	0.04	0.10
総固定資本形成	0.14	-0.12	0.15	0.15	0.23	0.01	0.20	0.30	0.05	0.53	0.02	0.26	-0.05	0.18
設備投資	0.08	0.03	0.15	0.14	0.15	0.08	0.18	0.14	-0.01	0.57	-0.03	0.11	-0.21	0.10
住宅投資	0.08	-0.09	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.08	0.06	0.03	0.04	0.10	0.06	0.07
その他建設投資	-0.02	-0.06	0.00	0.00	0.07	-0.08	-0.01	0.08	0.00	-0.06	0.00	0.06	0.09	0.01
在庫変動	0.33	0.14	-0.17	-0.16	0.24	-0.22	0.16	0.07	-0.09	-0.30	0.24	0.13	-0.08	-0.06
輸出	0.39	0.46	0.80	0.62	1.18	0.57	0.28	0.42	0.18	0.59	0.19	0.70	0.64	0.52
輸入	-0.46	-0.52	-0.65	-0.46	-1.19	-0.37	-0.52	-0.69	-0.19	-0.76	-0.20	-0.88	-0.20	-0.40
純輸出	-0.07	-0.06	0.14	0.16	0.00	0.21	-0.24	-0.27	-0.01	-0.17	-0.01	-0.18	0.44	0.12

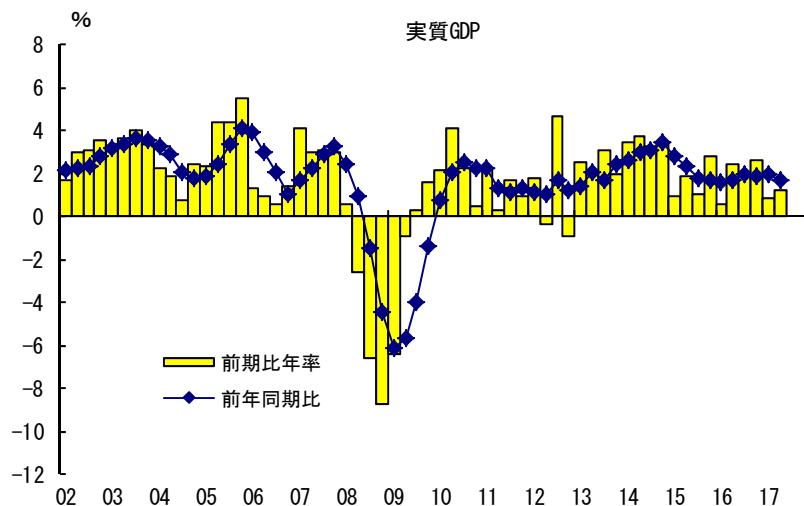
出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり

ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 17 年 Q2 の実質 GDP 成長率は前期比+0.3%となり、Q1 の同+0.2%から若干加速したものの、2 四半期連続での低成長となった
- 17 年 Q2 の需要項目別の内訳では個人消費が前期比+0.1%と減速したことが目を引く
- 総固定資本形成は前期比+0.7%と堅調な伸びとなったが、これはもっぱら政府部門の投資が前期比+5.0%と拡大したためであり、企業部門の投資はさえない



名目GDPに占める割合（%）

	2016
民間消費	65.1
政府消費	19.0
総固定資本形成	16.7
政府部門	2.6
企業部門	9.3
民間住宅投資	3.3
輸出	28.2
輸入	30.1

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2
実質GDP	0.8	0.9	0.8	0.8	0.3	0.5	0.3	0.7	0.2	0.6	0.5	0.7	0.2	0.3
個人消費	0.2	0.5	1.3	-0.2	0.8	0.5	1.0	0.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.1
政府消費	1.5	0.2	0.2	-0.2	0.4	0.9	0.6	-0.2	0.4	0.2	-0.1	0.0	0.7	0.6
総固定資本形成	2.8	-1.6	1.4	0.7	1.5	1.2	0.8	-0.9	0.0	0.2	0.6	0.1	1.0	0.7
政府部門	16.1	-20.5	9.1	-0.6	1.0	-0.8	-1.6	-0.3	1.2	0.4	4.2	1.3	0.6	5.0
企業部門	-3.4	6.0	-1.3	1.9	2.7	-0.3	1.9	-2.4	-1.1	0.8	0.4	-0.9	0.6	0.0
民間住宅投資	10.9	-8.1	4.6	-0.9	1.7	4.3	-1.7	1.8	1.6	0.4	-0.9	1.4	3.1	-3.0
輸出	2.6	-0.3	-1.3	4.0	3.2	-0.7	-0.6	5.9	-2.9	1.3	-2.1	4.6	-0.7	0.7
輸入	-0.1	-1.3	1.1	2.8	4.1	-2.3	0.6	2.1	0.4	0.3	2.3	-1.0	1.7	0.7

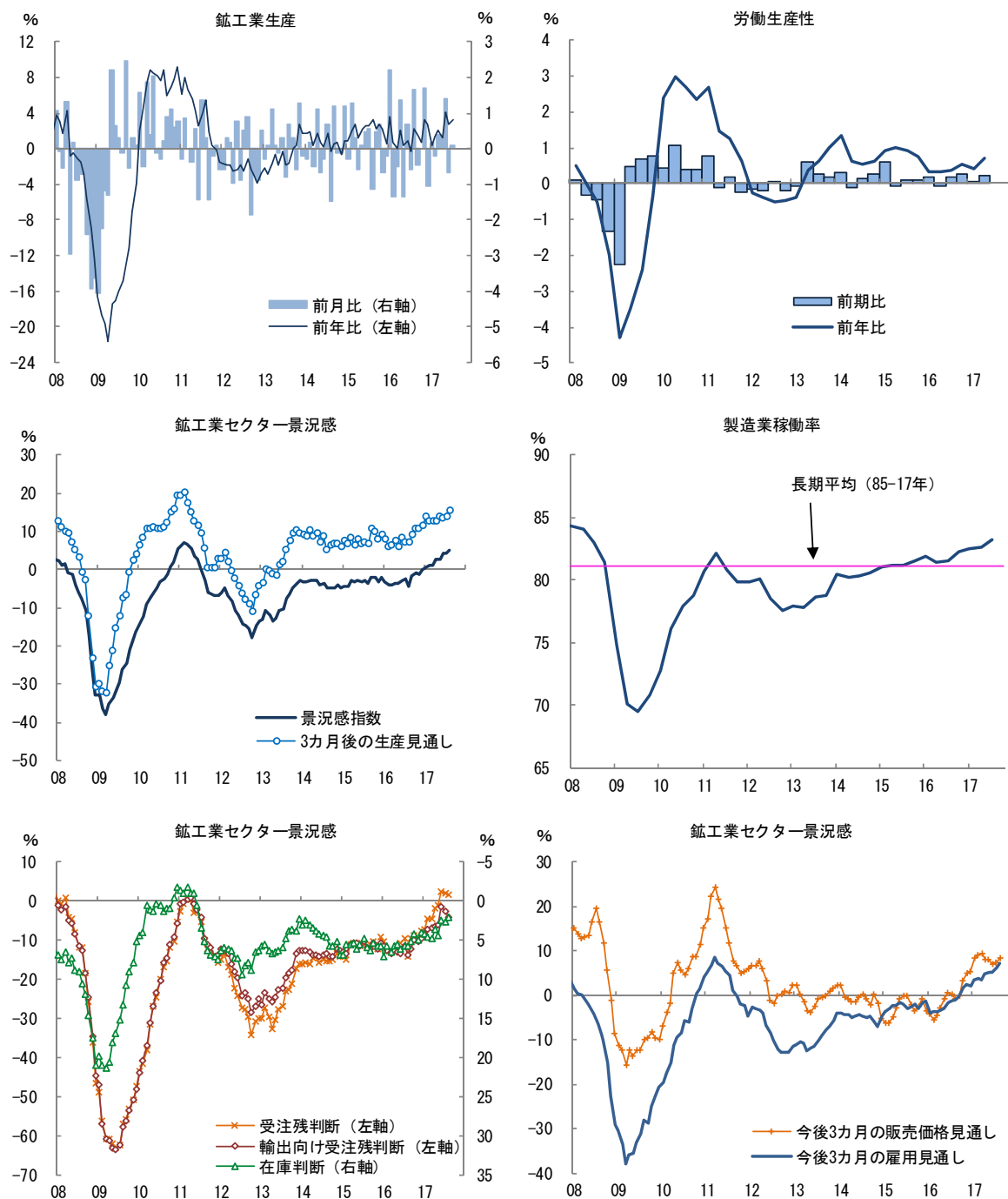
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2
実質GDP	0.85	0.93	0.81	0.83	0.25	0.48	0.27	0.69	0.15	0.60	0.50	0.66	0.21	0.30
個人消費	0.16	0.31	0.84	-0.10	0.49	0.31	0.63	0.27	0.48	0.48	0.47	0.46	0.25	0.07
政府消費	0.30	0.04	0.05	-0.05	0.08	0.18	0.11	-0.03	0.07	0.04	-0.03	0.00	0.14	0.13
総固定資本形成	0.46	-0.27	0.24	0.11	0.24	0.21	0.13	-0.15	0.00	0.04	0.09	0.02	0.17	0.12
政府部門	0.44	-0.64	0.22	-0.02	0.03	-0.02	-0.04	-0.01	0.03	0.01	0.11	0.03	0.02	0.13
企業部門	-0.32	0.55	-0.12	0.18	0.25	-0.03	0.19	-0.23	-0.11	0.07	0.03	-0.09	0.05	0.00
民間住宅投資	0.34	-0.28	0.15	-0.03	0.06	0.14	-0.06	0.06	0.05	0.01	-0.03	0.05	0.10	-0.10
在庫変動	-0.68	0.52	0.43	0.61	-0.29	-0.81	-0.26	-0.55	0.34	-0.43	1.25	-1.63	0.47	0.03
輸出	0.75	-0.10	-0.39	1.13	0.94	-0.22	-0.18	1.76	-0.92	0.39	-0.65	1.37	-0.22	0.22
輸入	0.04	0.42	-0.36	-0.88	-1.32	0.77	-0.18	-0.68	-0.15	-0.10	-0.77	0.35	-0.56	-0.24
純輸出	0.79	0.32	-0.75	0.26	-0.38	0.55	-0.36	1.08	-1.07	0.29	-1.43	1.73	-0.79	-0.02

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 7月の鉱工業生産は前月比+0.1%と小幅な伸びだが、前年比では+3.2%と堅調
- 17年Q2の労働生産性は前期比+0.2%、前年比+0.7%と低い伸び率ながら改善
- 鉱工業セクターの景況感指数は過去1年余り明確に改善している。8月は受注残判断が輸出向けにやや悪化したが、生産見通しは6年5カ月ぶりの高水準まで改善した

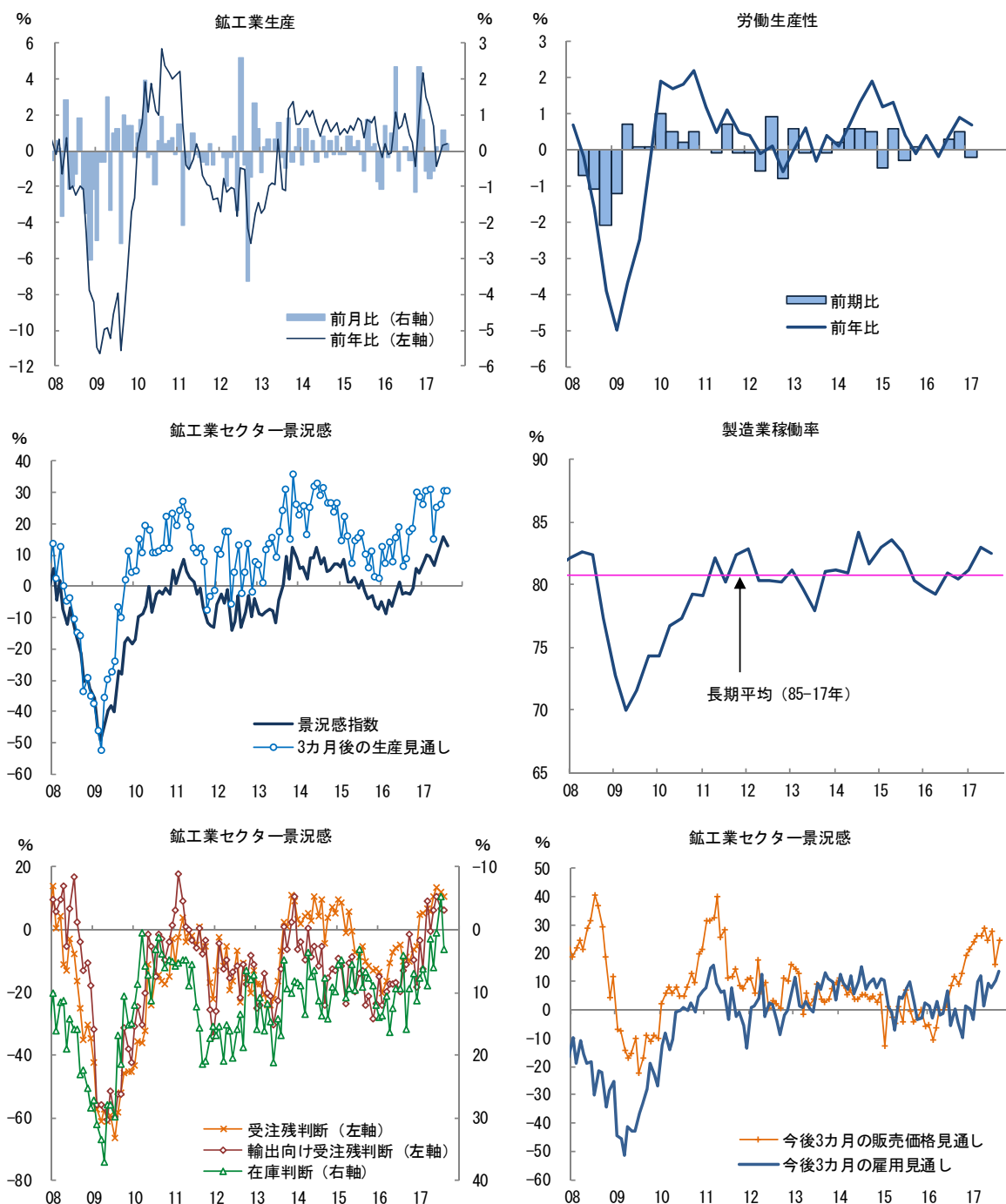


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 7月の鉱工業生産は前月比+0.2%と小幅ながら2カ月連続で拡大
- 8月の鉱工業セクター景況感は12.8%に小幅悪化。構成項目のうち在庫判断が大幅に悪化した、生産見通しは高水準を維持
- 鉱工業セクターでは今後3カ月の雇用拡大意欲が一段と高まっており、また販売価格上昇にも強気である

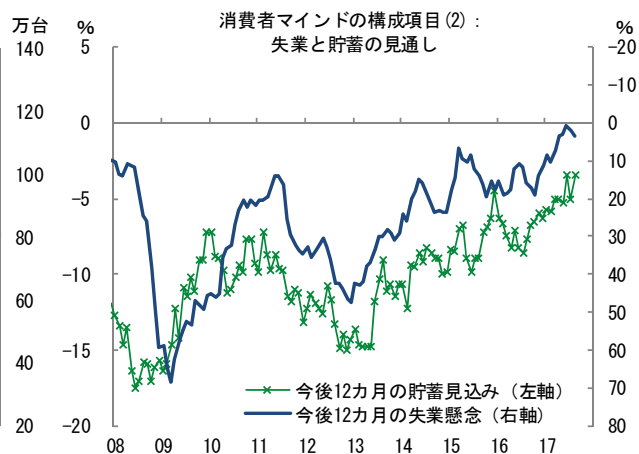
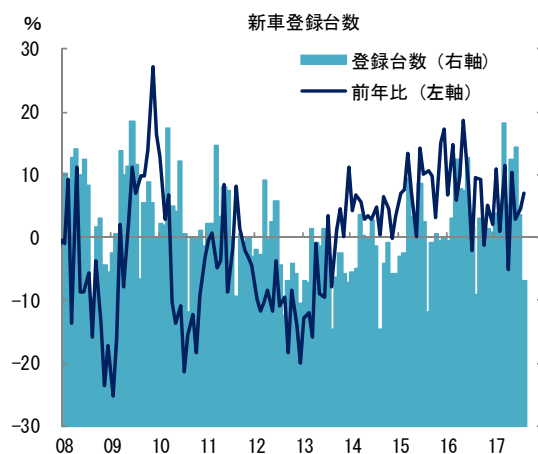
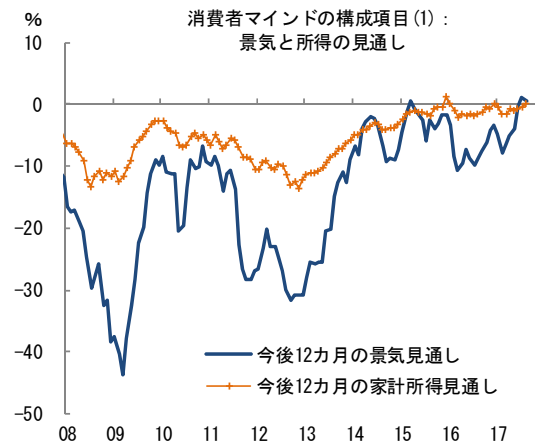
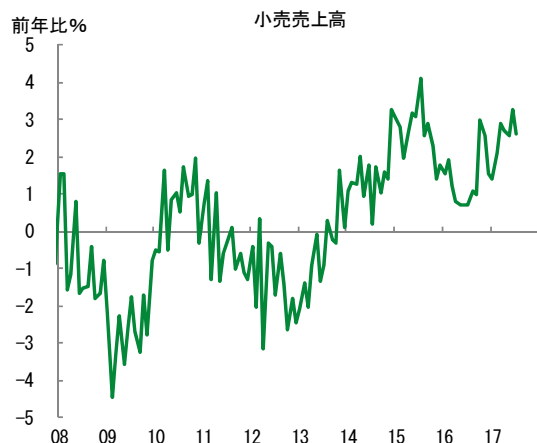
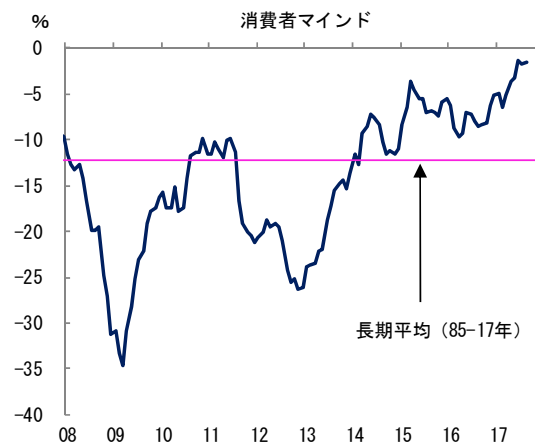
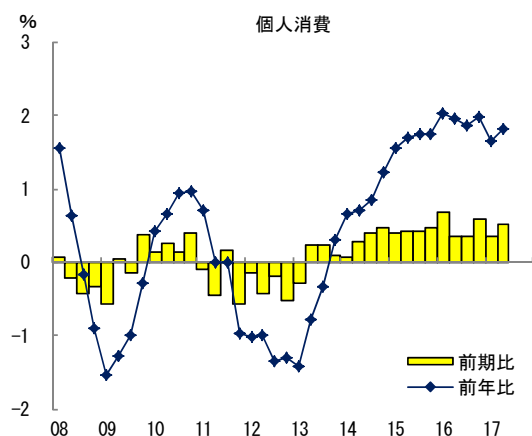


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 7月の小売売上高は前年比+2.6%と堅調な伸びを維持
- 新車登録台数は8月に前年比+6.9%となり、1-8月も同+5.3%と好調に推移している
- 消費者マインドは6月に16年ぶりの高水準となる-1.3%をつけたあと、8月も-1.5%と高水準を維持している

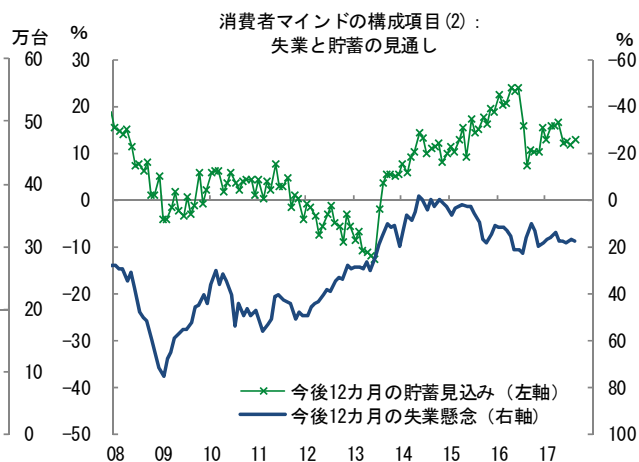
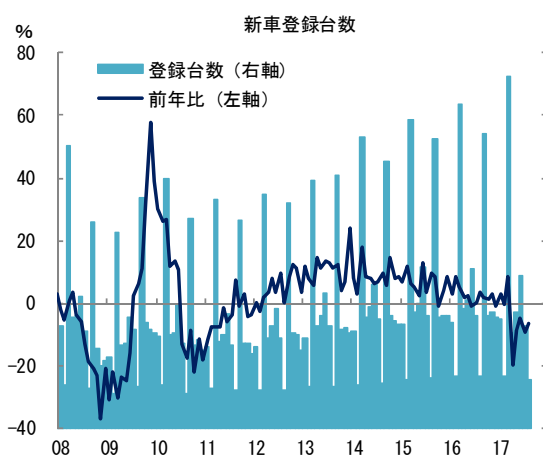
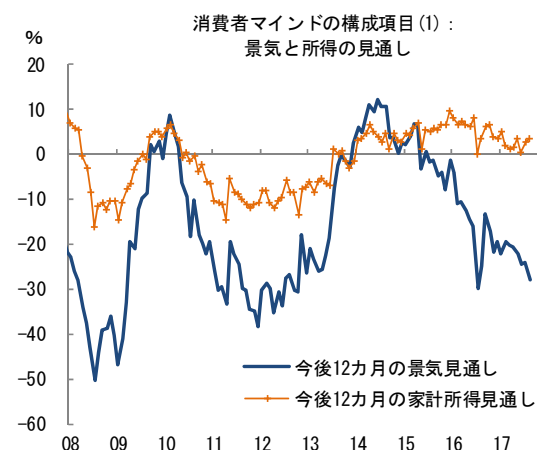
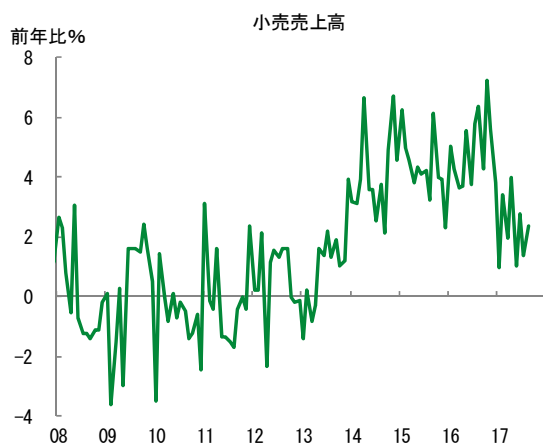
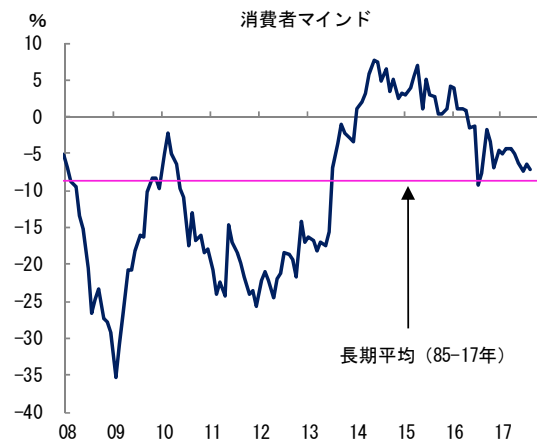
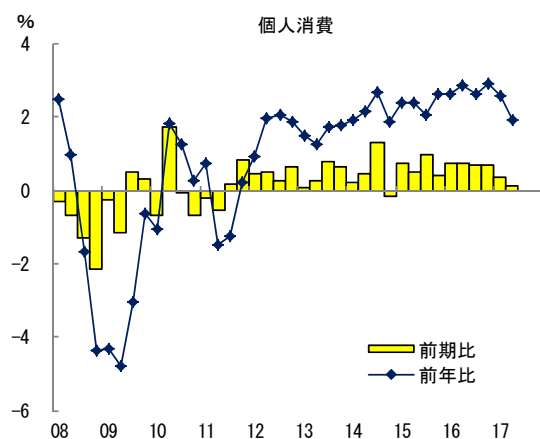


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 8月の小売売上高は前年比+2.4%へ反発したが、16年平均の同+4.9%は大きく下回る
- 8月の新車登録台数は前年比-6.4%、1-8月は同-4.7%と落ち込んでいる
- 8月の消費者マインドは-7.2%へ小幅悪化。構成項目のうち家計所得見通しは改善したが、景気見通しが一段と悪化している

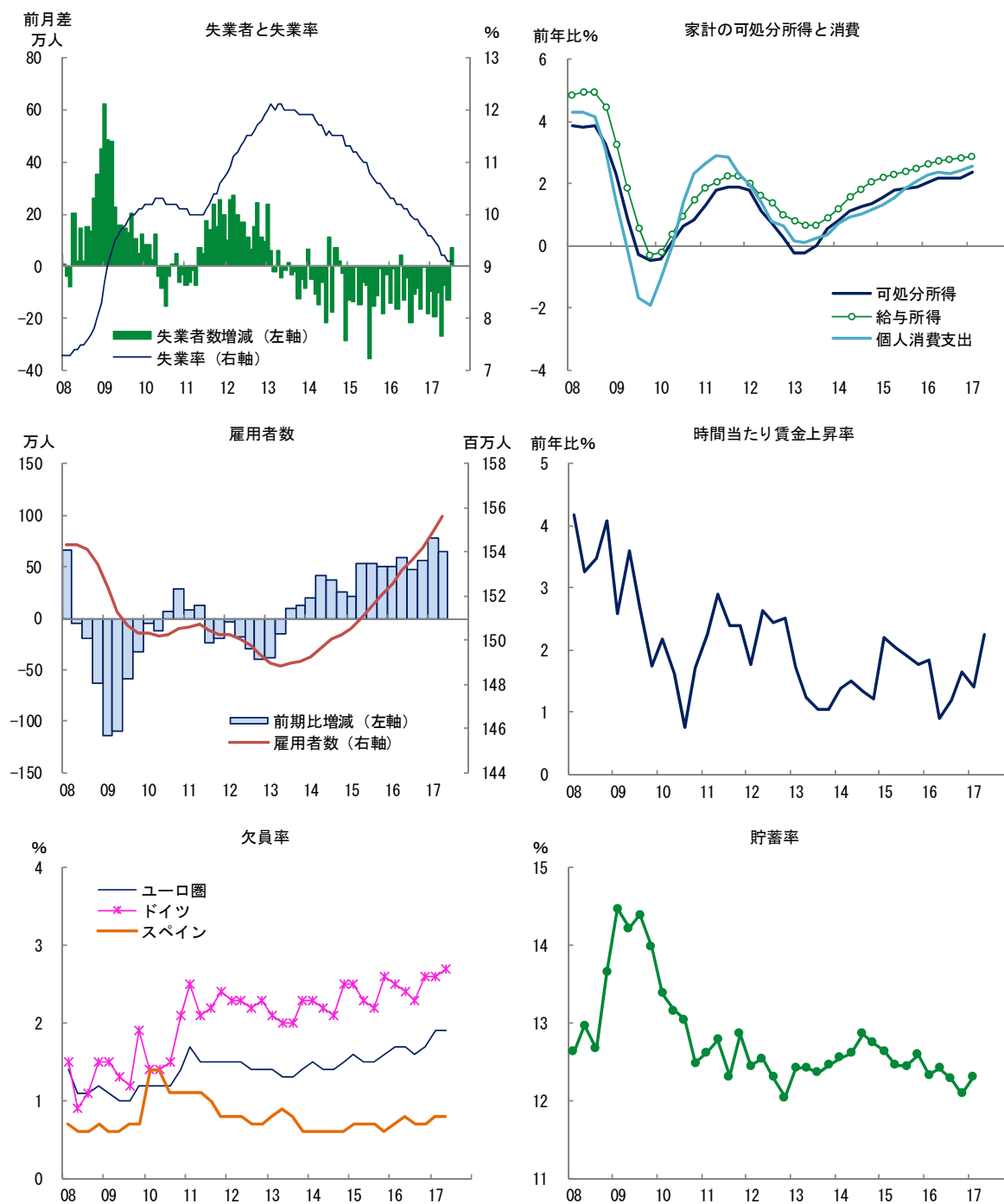


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 7月の失業率は9.1%と09年2月以来の低水準をつけた6月から横ばいだが、失業者数は15カ月ぶりに前月比で増加した
- 17年Q2の雇用者数は前期比65万人増の1億5,560万人と順調に拡大
- 17年Q2の賃金上昇率は前年比+2.2%とQ1の同+1.4%から加速した

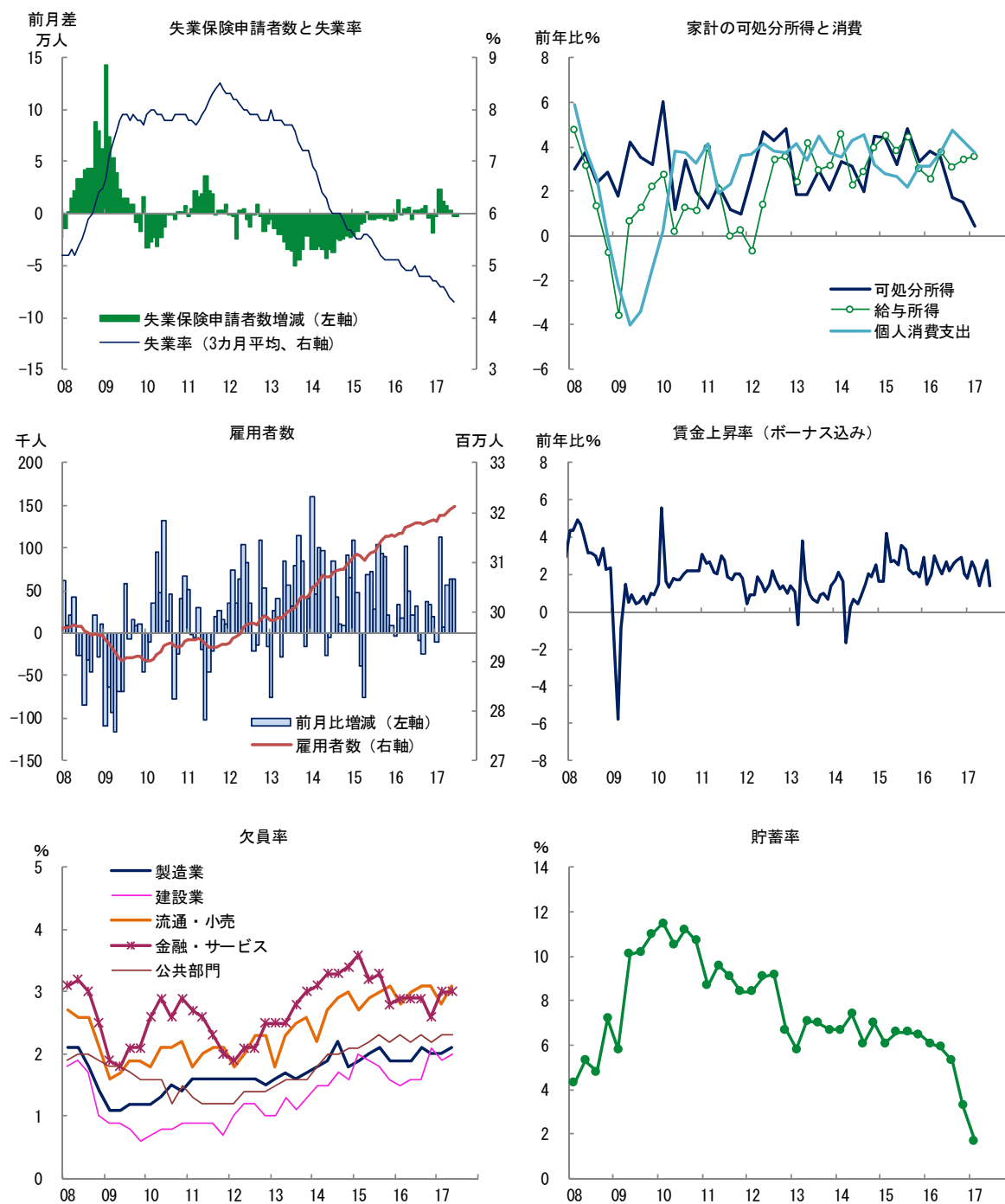


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 5－7月平均の失業率は75年以来の低水準となる4.3%に低下
- 6月の雇用者数は前月比6.3万人増の3,214万人と順調に拡大
- 7月の賃金上昇率はボーナスによる押し上げが剥落して前年比+1.4%に減速。5－7月平均は同+2.1%で4－6月平均と変わらなかった

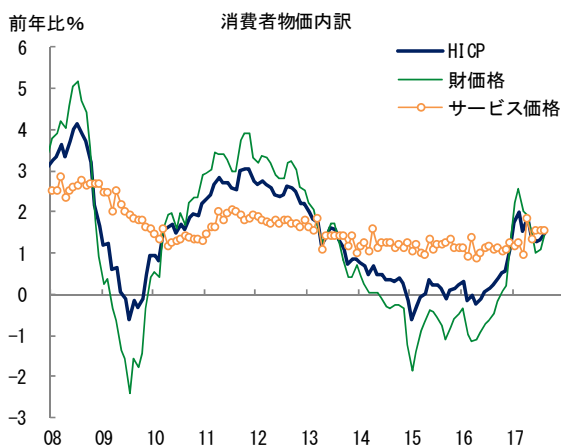
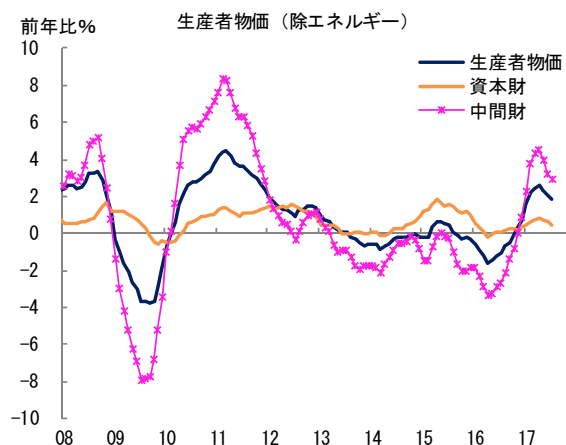
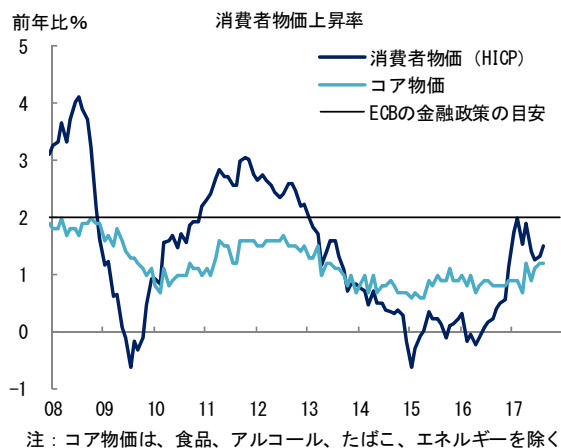


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

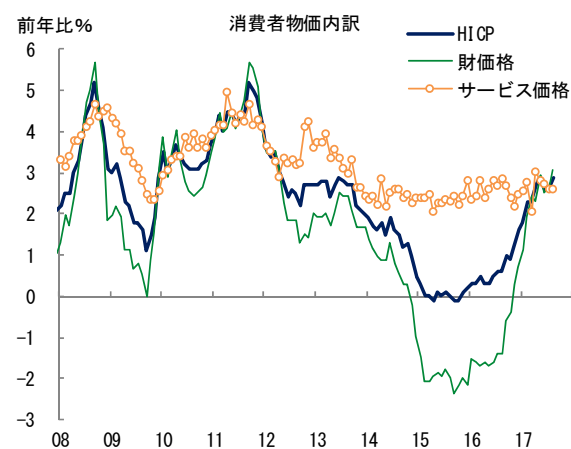
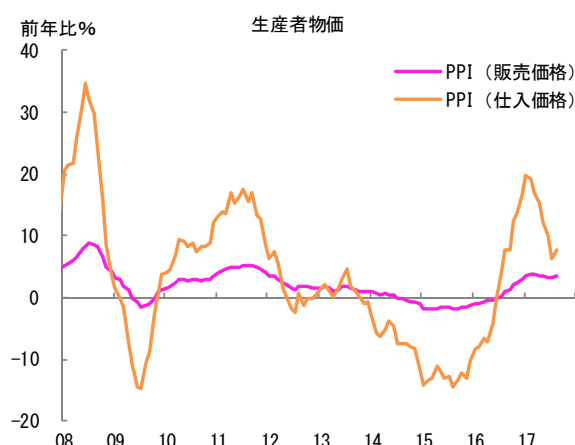
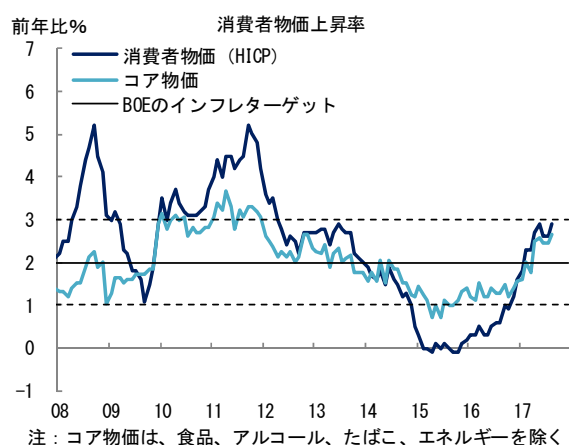
- 8月の消費者物価（HICP）上昇率はエネルギー価格上昇を受け、前年比+1.5%へやや加速
- 食品、アルコール、たばこ、エネルギーを除いたコア物価上昇率は、8月は前年比+1.2%となり、7月と同水準
- 輸入物価は6月に前年比+4.7%となり、2月の同+10.7%をピークに減速傾向。ユーロの実効為替レートは4月以降急上昇しており、輸入物価のさらなる抑制要因になるとみられる



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

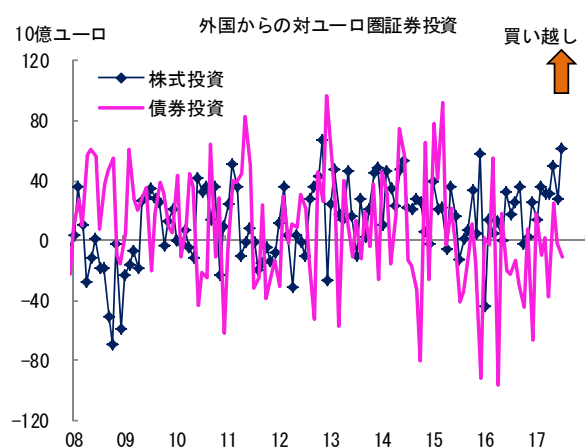
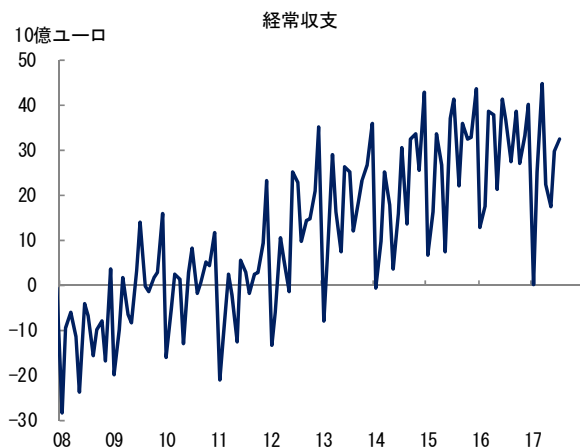
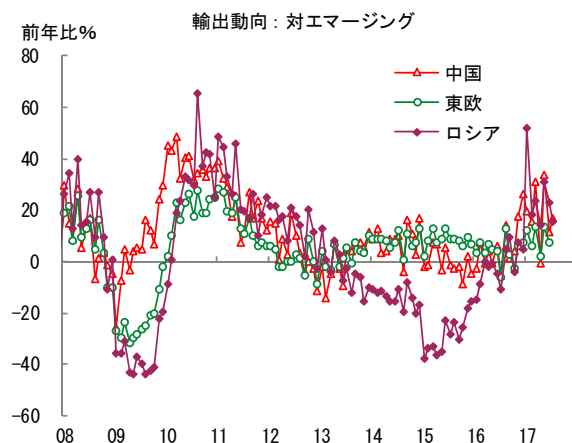
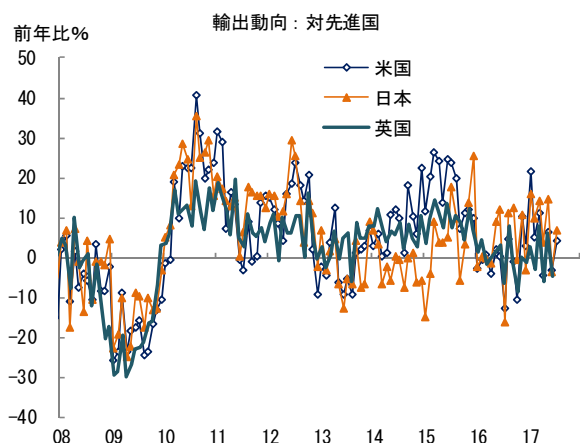
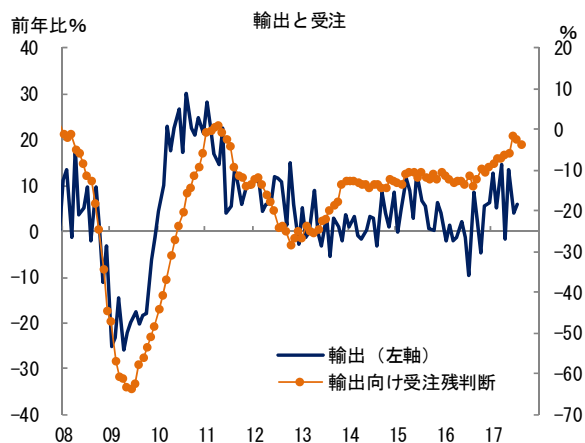
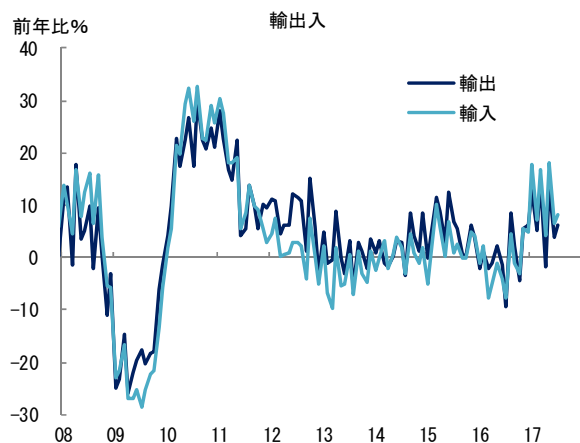
- 8月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.9%へ加速。食品、アルコール、たばこ、エネルギーを除いたコア物価上昇率も同+2.7%へ加速した
- 8月の生産者物価は仕入価格が前年比+7.6%、販売価格は同+3.4%となり、いずれも7月と比べて伸びがやや加速した
- 8月のポンドの実効為替レートは前年比-3.6%と引き続き輸入物価の押し上げ要因だが、ピークをつけた16年10月の同-18.4%と比較するとその影響力は明確に縮小



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

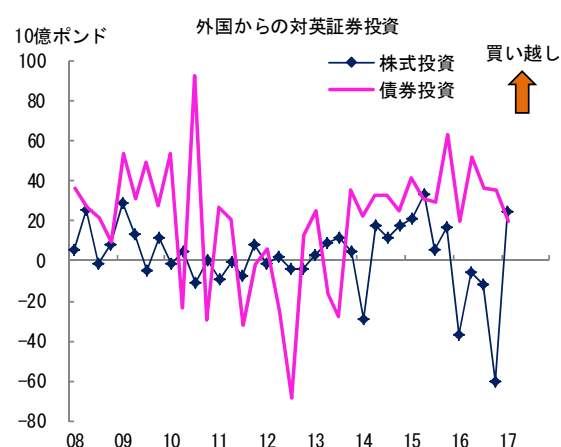
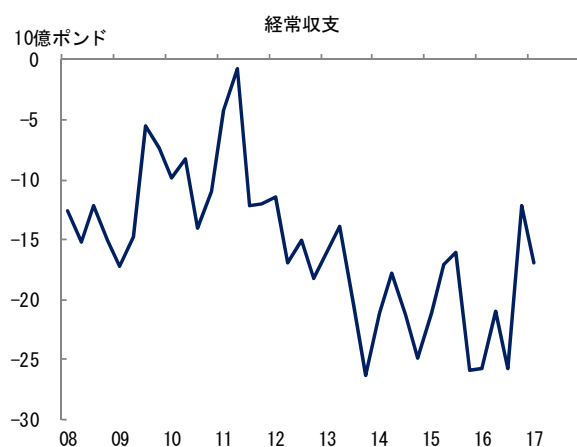
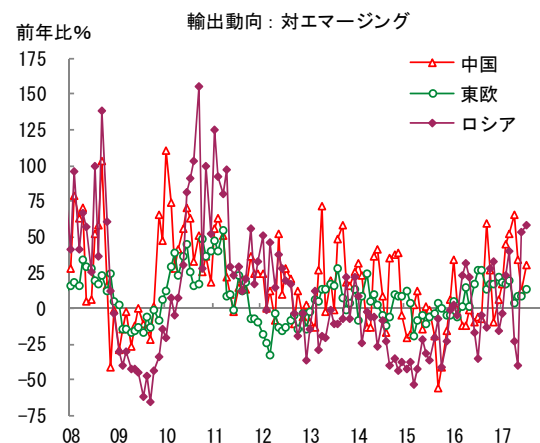
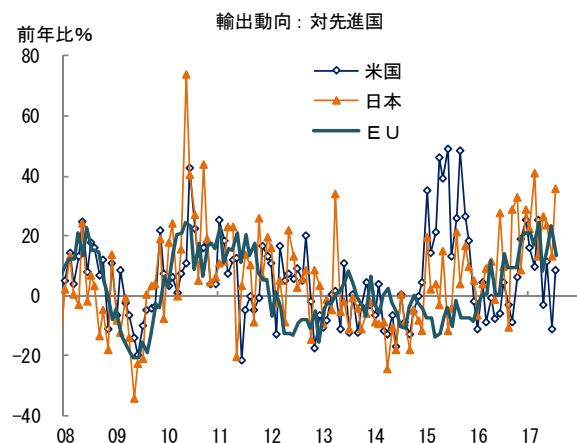
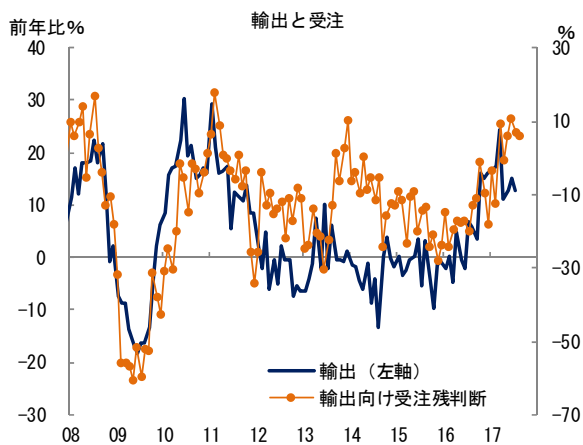
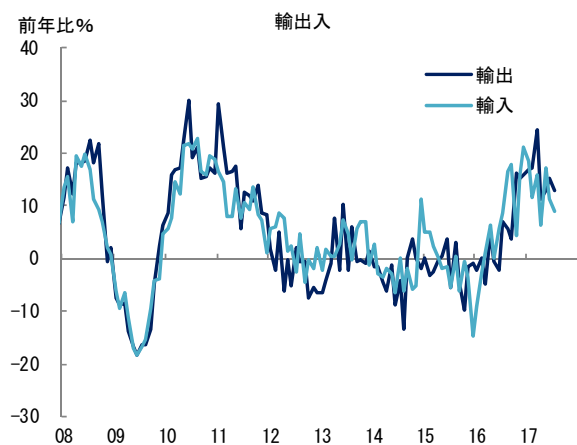
- 7月の輸出は前年比+6.1%、輸入は同+8.2%とそれぞれやや加速
- 輸出相手先別では、中国向けが同+16.7%、ロシア向けが同+15.7%と二桁の伸びを維持。また、6月に前年割れした米国向けと日本向けはそれぞれ同+4.1%、同+6.7%と反発した
- 7月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、株式投資の買い越し額が拡大した一方、債券投資は2カ月連続で売り越しとなった



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 7月の輸出は前年比+12.8%となり、10カ月連続で二桁の伸びが続いている
- 7月の輸出を相手先別に見ると、シェア48%のEU向けは前年比+13.7%と高い伸びを維持し、またシェア18%の米国向けは同+8.3%と2カ月ぶりに拡大に転じた
- 8月の輸出向け受注残判断は高水準を維持しており、輸出好調が続くと見込まれる



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成